

平成28年2月22日

各 位

(一財)土木学会 建設マネジメント委員会
委員長 福本勝司

ケースメソッドを活用した建設マネジメント力の育成に関する模擬授業について(参観ご案内)

日頃より土木学会建設マネジメント委員会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

土木学会建設マネジメント委員会では、ケースメソッドを活用し建設マネジメント力を育成する手法の開発と普及に取り組んでおります(「建設ケースメソッド普及小委員会」(木下小委員長))。委員会では、東日本大震災の事例を題材にしたケース(教材)づくりから着手し、これを用いた模擬授業の実施等を進めてまいりました。その結果、この分野でのケースメソッドの効果は次第に認識されるところとなりました。現在は、災害対応分野の多様なケースづくりを進めとともに、この手法を建設分野で生じる様々な課題への対応に広げていくことを目標に活動を進めております。

このような中、この度、建設会社の現場所長の労務管理等を巡っての苦悩を題材にしたケースを試作するところとなり、小澤一雅東京大学教授(前建設マネジメント委員長)に講師をお願いし、関係者に受講者として参加していただき、下記により模擬授業を開催するところとなりました。そして、建設マネジメント委員会の委員とともに研修機関等の皆様にご参観いただき、この手法の有効性、今後のケースづくりの進め方、職場での研修への活用策等について討議させていただくこととしました。

つきましては、貴殿に是非ともご参観いただき、討議に加わっていただきたくご案内するものであります。何卒、よろしくお願ひいたします。

ケースメソッドは、現実に生じる各種の問題に対し判断力、対応力等を養う手法として、ビジネスの世界には広く取り入れられている手法です。現実に起こった事例をもとに作成された「ケース」を教材にして、自らがその局面に身を置いたとすればどのように対処したかを真剣に考え(疑似体験)、グループ討議、全体討議等を通じて考えを深め、そして新たな気付きを生むといった教育・研修の手法であります。

記

1 日時、場所 3月7日(月) 土木学会講堂にて

2 全体プログラム

(受付 14:45より)

活動報告 15:15～15:30

模擬授業 15:30～16:50

検討会 17:00～17:45

(この後、立食による懇親会が用意されています。)

3 模擬授業

講 師：小澤一雅東大教授

受講者：発注機関、ゼネコン、コンサルタント等 約30名

ケース「繁忙現場における現場所長の苦悩～発注者対応と労務管理の狭間で～」

(連絡先)

土木学会建設マネジメント委員会 事務局 久米村：(kumemura@jsce.or.jp)

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559(直通) /3441(代表)